



# 第16回 日本 e-Learning 大賞 募集要項

ご応募はこちらから ▶ [www.elearningawards.jp/](http://www.elearningawards.jp/)

## 【実施概要】

名称: 第16回日本 e-Learning 大賞  
主催: 日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)  
一般社団法人 e-Learning Initiative Japan

後援: 申請中  
問い合わせ先: 一般社団法人 e-Learning Initiative Japan

[info@elearning-initiative.com](mailto:info@elearning-initiative.com)

募集締切: 2019年7月31日(水)(予定)  
審査: 第一次選考 2019年8月上旬(予定)  
最終選考 2019年9月上旬(予定)  
発表: ●「eラーニングアワード2019 フォーラム」(2019年11月13日～15日、御茶ノ水・ソラシティ カンファレンスセンター)会場内で発表。また、会場内には展示およびプレゼンテーションの場を設け、来場者に紹介する場を設けます。  
●フジサンケイ ビジネスアイ紙上および「eラーニングアワード2019 フォーラム」公式サイトに掲載します。

## 【昨年度実績】

日本 e-Learning 大賞、経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、総務大臣賞、厚生労働大臣賞、各団体会長賞(ICT CONNECT21、医療系 e-Learning 全国交流会、日本電子出版協会)、特別部門賞(18点)

## 【趣旨・目的】

2004年に創設された「日本 e-Learning 大賞」は一般社団法人 e-Learning Initiative Japan ならびに日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)により運営されています。本制度は、新しい e-Learning の可能性を例証し、優秀な事例や取り組みを顕彰することによって、e-Learning の健全な発展、市場の確立、およびユーザーまたはベンダーの育成を支援することを目的としています。企業・自治体・団体においては e-Learning を用いた生産性向上・業務や就労の改革、また学校・個人においては新しい学習形態の可能性・学力向上などに役立つさまざまな取り組みを称え、表彰します。16回目となる今年も、企業・自治体・団体・学校などから広く募集します。関係の皆様のご応募をお待ちしています。

## 【表彰】

11月13日(水)、御茶ノ水・ソラシティカンファレンスセンターで開催する「eラーニングアワード2019 フォーラム」にて表彰いたします。

## 【審査方法・審査委員】

審査方法 第1次選考＝応募用紙およびデモデータ素材にて審査。  
最終選考＝第1次選考通過者によるプレゼンテーション(各10分間の説明と5分間の質疑応答)により選考。  
選考委員会 第1次選考 選考委員長 重田 勝介氏(北海道大学 情報基盤センター 准教授)  
最終審査 審査委員長 福原 美三氏(一般社団法人日本オープンオンライン教育推進協議会 常務理事  
明治大学 学長特任補佐)

## 【応募要領・方法】

応募対象 企業・自治体・団体・学校での応募のほか、個人での応募も可能です。なお、応募は無料です。  
応募テーマ **応募テーマは自由で、応募点数に制限はありません。** 審査共通評価基準をもとに、応募作品の中から教育 ICT の発展を予感させるコンテンツ、サービス、ソリューション、導入事例などへの日頃の取り組みを評価します。  
応募方法 「日本 e-Learning 大賞」公式ウェブサイトからエントリーしてください。あわせて、アピールポイントがわかる応募作品、もしくは応募作品の内容がわかる素材(URL、ファイル、動画など)もウェブにて提出してください。  
**【重要】ご提出いただく素材に関しまして、作品にログイン出来ない、審査基準に沿わないパンフレットの提出、動画が再生されない等が原因で、正確に審査ができない場合がございます。ご応募を頂く上で、正確なご準備の程、よろしく願い致します。**

審査時点では事例ユーザー名は一般公表いたしません。 <http://www.elearningawards.jp/>

【お問い合わせ】第16回日本 e-Learning 大賞事務局  
一般社団法人 e-Learning Initiative Japan 事務局 担当＝加藤  
[info@elearning-initiative.com](mailto:info@elearning-initiative.com)

【評価基準】 ※前回実績

審査共通	■組織における生産性
評価基準	オフィス、工場などの企業・組織生産性向上や学校教育において著しい成果を見せる学習法などeラーニングの活用により、生産性や学習効果の向上の観点から判断
	■メディア活用性
	ビデオ、シミュレーションなどのリッチコンテンツや携帯電話、スマートフォン、タブレット端末などのモバイルメディアの使い方で、受講者の学習を促進し、学習効果を上げるかを判断
	■品質保証性
	学習成果を保証するための理論や見識に基づく分析、評価、改善活動の結果、コンテンツ開発、メンタリングサポート、eラーニング活用方法などの分野で品質を保証するかを判断
	■新規性
	画期的なコンテンツ、ネットワーク技術の活用、新規活用分野開拓、新たなeラーニングコンセプトの実現、新しい学習法など、eラーニングの新たな分野拡大に貢献するものであるかを判断
	■社会連携性
	Twitter や facebook などに代表されるソーシャルメディアの活用による学習者間でのコミュニティ形成や、国際交流・異分野連携・産学連携などを通じた社会でのより広がりある学習コミュニティの形成によって学習意欲や学習継続性を高める効果が期待できるものであるかどうかを判断
	■学習達成評価
	e ポートフォリオの活用や学習達成度の客観評価指標の導入など、学習者にとって付加価値の創造に繋がる学習評価を効果的に導入して入るかどうかを判断

【表彰内容】 ※前回実績含

■日本 e-Learning 大賞（通称:e-Learning of the Year） 1点（賞状と賞品）  
応募作品の中で今年最も優秀である作品を表彰対象とする。

■大臣賞  
経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、総務大臣賞、厚生労働大臣賞 各 1 点

■各団体会長賞  
ICT CONNECT21 会長賞、医療系 eラーニング全国交流会会長賞、日本電子出版協会会長賞 各 1 点

■各特別部門賞 数点（賞状）  
ある分野において極めて特徴的であり、今後の可能性を大いに感じさせる作品を表彰対象とする。

※集合研修 ICT 活用特別部門賞、AI・人工知能特別部門賞、EdTech 特別部門賞、IoT 特別部門賞、アクティブラーニング特別部門賞、キャリアアップ教育特別部門賞、グローバル特別部門賞、教育ビッグデータラーニングアナリティクス特別部門賞、人財育成特別部門賞、ヘルスケア特別部門賞、HR Tech 特別部門賞などをはじめ、様々な分野における特別部門賞を設定予定です。

※賞名称は予定です。その他賞については前回ベースにて申請中です。申請がおり次第、公式 web にて更新します。  
過去の受賞作品はこちらの URL からご覧いただけます。 <http://www.elearningawards.jp/>  
(トップページの「日本 e-Learning 大賞」タブをクリックしてください。)